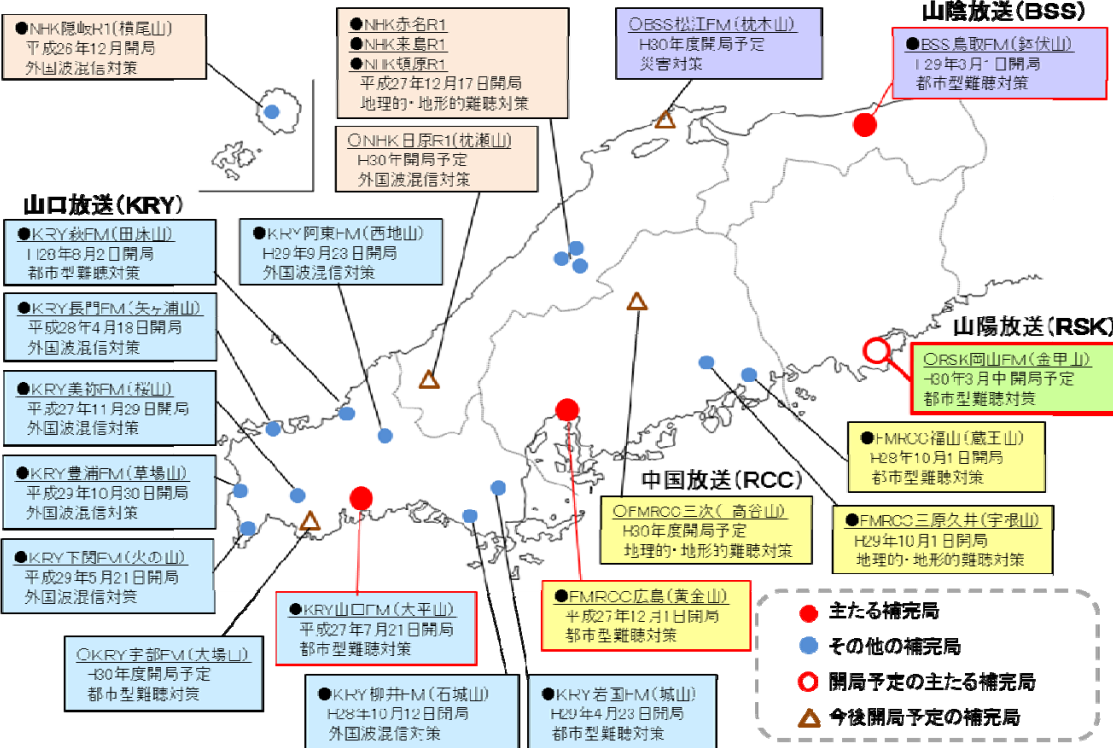


- FM補完中継局は、AM放送の区域内において、難聴（都市型難聴、外国波混信、地理的・地形的難聴）対策や災害対策のために補完的に行うFM放送。
 - ・東日本大震災の経験を踏まえ、ラジオにより平時の生活情報や災害発生時の被災情報、避難情報といった国民に必要な情報が確実に提供されるよう、平成26年度に制度化。
 - ・FM補完中継局は、主に地上アナログテレビジョン放送の跡地である90～95MHzの周波数を使用。
 - ・FM補完中継局の整備に対し、民放ラジオ難聴解消支援事業による補助金交付による支援を実施。
- 中国管内では、平成27年に山口放送と中国放送がFM補完中継局による放送を開始。現在、13局（広島県3局、鳥取県1局、山口県9局）がFM補完中継局による放送を実施。

FM補完中継局の整備状況



○ 民放ラジオ難聴解消支援事業

【平成29年度予算】

- 民放ラジオ難聴解消支援事業 20.2億円
 (平成28年度当初 10.1億円 平成28年度補正 なし)
 ⇒平成28年度は、(株)山陰放送、(株)中国放送、山口放送(株)が実施
 ⇒平成29年度は、山陰放送㈱、山口放送㈱、㈱エフエムくらしが実施中

対象：民間ラジオ放送事業者、地方自治体等
 支援対象：補助率：地理的・地形的難聴、外国波混信2/3、都市型難聴1/2
 補助額の上限：なし 補助費：あり
 対象設備：難聴対策としての中継局整備
 今後の予定：未定

